

学校給食のあゆみ

学校給食の起源

明治22年 山形県鶴岡の私立忠愛小学校で
 昼食の供与が行われました。
 (岡山県では明治44年 岡山県小田郡の小田小学校で昼食給食を実施)



発祥の地記念碑写真



昭和23年ごろの給食風景

戦後の学校給食

昭和21年 文部省・厚生省・農林水産省の三省次官
 通達で、学校給食の方針が決まりました。
 (昭和22年 岡山・倉敷・津津で学校給食開始)



昭和30年ごろの給食風景

学校給食法制定

昭和29年 学校給食法公布
 法的に実施体制が整いました。



昭和30年献立



昭和22年献立



明治24年献立



米飯給食の様子



昭和52年献立

米飯給食の実施

昭和51年 文部省体育局長通知により、米飯給食が
 正式に導入されました。
 この年からお米の値引き措置がとられました。



平成元年 学校給食が100周年を迎えました



平成20年の給食

学校給食衛生管理体制の確立

平成8年 腸管出血性大腸菌O157による食中毒事件が発生しました。
 平成9年 学校給食衛生管理の基準が定められ、学校給食の安全確保が推進されました。

食育基本法の公布 栄養教諭制度の創設

平成17年 食に関する知識と食を選択する力を習得し、
 健全な食生活を実践することができる人間を育てる
 食育を推進することが求められました。



郷土食献立



食育指導

学校給食法の改正

平成20年 学校給食の目的として「学校における食育の推進」が
 明確に位置づけられ、食育を推進する「生きた教材」としての
 学校給食づくりと、衛生管理の徹底が求められました。



検査実習



農業体験